

L1 & L2 文法整理

當我們要說明**主題**的姓名,身分,所屬,出生地,地點等屬性時可以用表示斷定語氣的「～です」來表示。

STEP1:選定主題

わたし

林さん

ここ

出身

主題 は

STEP2:進行說明

林

学生

逢甲夜市

台南

です。(是～)

ですか。(是～嗎?)

じゃありません。(不是～)

《補充》

「～です」後加上表示疑問的「か」就會成為疑問句；「～です」換成「～じゃありません」就會變成否定句。

以人為**主題**,說明主題的喜好,及工作與習慣等長期狀態時可以用以下句型來表示。

STEP1:選定主題

わたし
林さん

主題 は

STEP2:選擇說明(1)喜好或(2)長期狀態

(1)當我們要敘述喜歡的人、事、物時,可以用「～が好きです」來表示。

堺雅人
勉強
アニメ

對象 が 好きです。(喜歡～。)

(2)當我們要敘述**現在**的工作,習慣等長期狀態時,可以用「～(て)います」來表示。若是敘述**過去**的工作,習慣等狀態時,可以用「～(て)いました」來表示。

経済学を専攻して
x x 会社で働いて
大学で勉強して
アニメを見て
台湾に住んで

動詞句 います。

動詞句 いました。

當我們要說明**主題**的外觀,形狀,大小,性質等屬性時,可以用形容詞來表示。選定主

題後進行説明。

主題	は	形容詞	です。
林さん		きれい	
日本の生活		忙しい	
日本語		面白い	

《補充》

(1)當我們要對表示人、事、物的名詞加以說明的時候可以用「～い・～な＋名詞」或者「名詞の＋名詞」的句型來表示。

形容詞	＋ 町（～的城鎮）	名詞	の ＋ ドラマ（～的戲劇）
きれいな		日本	
面白い		韓国	

(2)當主題的屬性有 2 個時我們可以轉換第 1 個形容詞的詞尾後加上第 2 個形容詞。

形容詞 1	、	形容詞 2	です。（又～又～）
きれいで			
上手で			
面白くて			
おいしくて			

第三課 送禮物

句型表現(一)

當我們要說明**主題**的事物時可以用表示斷定語氣的「～です」來表示。主題依事物跟說話者的距離由近到遠可用指示代名詞「これ（這個）」、「それ（那個）」、「あれ（那個）」來表示。

STEP1:選定主題

これ

それ

あれ

主題 は

STEP2:進行說明

お土産

日本のお菓子

ガイドブック

林さんの

です。

ですか。

ではありません。

《補充》

- (1) 當我們想知道所指事物為何時,可以用「～は ^{なん}何ですか(～是什麼)」來提問。
- (2) 另有「この+名詞(這～)」、「その+名詞(那～)」、「あの+名詞(那～)」的形式存在。

當我們要請對方**做某動作**時可以用「～てください(請～)」的句型來表示

例：

立ちます		って		って
帰ります			帰	って
書きます			書	いて
泳ぎます	動詞詞幹	いて	泳	いで
※ 行きます			行	って
飲みます			飲	んで
死にます	動詞詞幹	んで	死	んで
遊びます			遊	んで
貸します	動詞詞幹	して	貸	して

「食べ」、「見」為二類動詞「食べます」、「見ます」的詞幹, 詞幹加上「て」

食べて		
見て	動詞句	もいいですか。

另一方面, 三類動詞只有「します」與「来ます」。於詞幹加上「て」即成為該動詞的て形。

します	動詞詞幹	て	し	て
来ます			来	て

(3) 前面我們已經提到二類動詞的詞幹加上「ない」即為該動詞的ない形。一類動詞的ない形為將原詞尾母音「い」轉為「あ」再加上「ない」即可。

書きます	詞尾「あ」段音	ない	書か	ない
泳ぎます		泳が	ない	
貸します		貸さ	ない	
立ちます		立た	ない	
死にます		死__	ない	
飲みます		飲__	ない	
遊びます		遊__	ない	
帰ります		帰__	ない	
※ 会います		会わ	ない	

另一方面,三類動詞「します」去掉「ます」加上「ない」即可。「来(き)ます」為「来(こ)」加上「ない」即可。

第四課 談景點

句型表現(一)

當我們要說明**主題**的物品,場所等非生物所在時,可以用表示**非生物存在**的動詞「～に **あります** (在～)」來表示;另一方面要說明主題的人物等生物所在時,可以用表示**生物存在**的動詞「～に **います** (在～)」來表示。

STEP1:選定主題

はさみ
コンビニ
林さん
家族

主題 は

STEP2:選擇說明(1)非生物所在或者(2)生物所在

(1)說明非生物所在可用「～に **あります** (在～)」來表示。

箱の中
銀行の前
公園

場所 に あります。

(2)說明生物所在可用「～に **います** (在～)」來表示。

教室
台湾
学校

場所 に います。

當我們要描述某場所、桌子、建築物等**非生物**時，可以用「～に～が あります（(在)～有～）」來表示；當我們要描述某場所、人、動物等**生物**時，可以用句「～に～が います（(在)～有～）」來表示。

机の下		猫	
学校	場所 に	学生	非生物 が あります。
駅の前		銀行	生物 が います。
銀行の隣		本屋	

句型表現(三)

當我們要表示有曾經做過某事的經驗時，可以用「～ことが あります（曾～過～）」來表示。

日本へ行った	
納豆を食べた	
京都でお花見をした	動詞句 ことが あります。
台湾を一周した	
新幹線に乗った	

《補充》

(1) 「こと」前的動詞為動詞た形。還記得第二課學過的動詞て形嗎？た形跟て形的變化方式一樣，所以學過て形就會た形的變化囉！我們先來看二類動詞的變化。

◎二類動詞

食べ <u>ます</u>	食べ
--------------	----

見ます

動詞詞幹 た

見^た

◎一類動詞

会います

動詞詞幹 っ

会^{った}

立ちます

立^{った}

帰ります

帰^{った}

書きます

動詞詞幹 いて

書^{いた}

泳ぎます

泳^{いだ}

※

行きます

行^{った}

飲みます

動詞詞幹 んで

飲^{んだ}

死にます

死^{んだ}

遊びます

遊^{んだ}

貸します

動詞詞幹 して

貸^{した}

◎三類動詞

します

動詞詞幹 て

し^た

来ます

来^た

第五課 做美食

句型表現(一)

第一課提到要說明**主題**人物的喜好時,可以用「～が 好きです (喜歡～)」來表示。當我們要詢問對方的喜好時可以用「何が ^{なに}好きですか (喜歡什麼呢?)」的問句來表示。

あなた

主題 は 何が 好きですか。

林さん

句型表現(二)

疑問句可分為單純疑問句「～ますか」及有前提疑問句「～んですか」兩種。「コーヒー、飲みますか (你喝咖啡嗎?)」為單純疑問句,單純問對方喝咖啡嗎的問句;「コーヒー、飲むんですか (你是要喝咖啡嗎?)」為有前提疑問句,說話者知道對方不喝或是喝咖啡會出現睡不著心悸等反應,但對方卻準備要喝咖啡的時候的問句。本課所用的「どうやって作るんですか (是怎麼做的呢?)」的表現為看到對方介紹的料理後,再進一步再詢問該料理的情況,所以用有前提的疑問句來表示。下面我們來看看要怎麼做一個有前提的疑問句。

書く

作る

使う

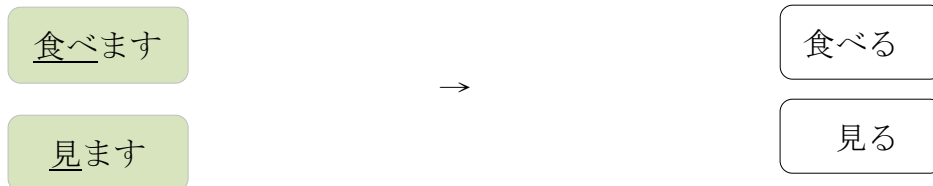
食べる

どうやって 動詞普通形 んですか。

《補充》

這個單元我們將補充介紹動詞的原形，也稱作普通形或是字典形的還原方法。二類動詞的字典形很簡單，將附著於動詞詞幹的「ます」拿掉換上「る」即可。

◎二類動詞



◎一類動詞

第二課提到一類動詞的ない形為將原詞尾母音「い」轉為「あ」再加上「ない」即可。字典形則是將原詞尾母音「い」轉為「う」即可。



◎三類動詞

三類動詞只有「します」與「来ます」。「します」的字典形為「する」；「来^きます」的字典形為「来^くる」。請注意漢字「来」的讀音。

します

する

来ます

来る

句型表現(一)

我們到目前為止看到的表現多半是以「～です」、「～ます」等結尾的句子，稱為禮貌形。相對於禮貌形，有以「～だ」、「～る」等結尾的句子，稱為普通形。我們在上一課提到的動詞的字典形也就是普通形，所以以動詞句來說，只要將原本的動詞句句尾的「～ます」改成動詞的字典形（請參照第四課）就變成普通形的句子；將動詞句句尾的「～ました」改成動詞的た形（請參照第三課）就變成普通形的句子了。另外表示非過去否定的「～ません」改成動詞的ない形（請參照第二課）就變成普通形的句子。表示過去否定的「～ませんでした」則將動詞的ない形的「い」改為「かった」即成為普通型的句子。

◎動詞句

	禮貌形	普通形	
肯	あした日本へ <u>行きます</u> 。	⇔ あした日本へ <u>行く</u> 。	→ <u>字典形</u> (請參照第四課)
	毎日果物を <u>食べます</u> 。	⇔ 毎日果物を <u>食べる</u> 。	
	毎週テニスを <u>します</u> 。	⇔ 毎週テニスを <u>する</u> 。	
	きのう日本へ <u>行きました</u> 。	⇔ きんのう日本へ <u>行った</u> 。	→ <u>た形</u> (請參照第三課)
	けさ果物を <u>食べました</u> 。	⇔ けさ果物を <u>食べた</u> 。	
	先週テニスを <u>しました</u> 。	⇔ 先週テニスを <u>した</u> 。	
否	ことし日本へ <u>行きません</u> 。	⇔ ことし日本へ <u>行かない</u> 。	→ <u>ない形</u> (請參照第二課)
	あした何も <u>食べません</u> 。	⇔ あした何も <u>食べない</u> 。	
	何も <u>しません</u> 。	⇔ 何も <u>しない</u> 。	
	～ <u>行きませんでした</u> 。	⇔ ～ <u>行かなかった</u> 。	→ <u>ない形の「い」</u> 轉為 「かつ」加上「た」
	～ <u>食べませんでした</u> 。	⇔ ～ <u>食べなかった</u> 。	
	～ <u>しませんでした</u> 。	⇔ ～ <u>しなかった</u> 。	

イ形容詞的原形本身就可以當句子的結尾，不加表示禮貌的「～です」就是

普通形的句子了。

◎イ形容詞句

	禮貌形		普通形
肯	大きい <u>です</u> 。	⇔	大きい <u>φ</u> 。
	大き <u>かった</u> です。	⇔	大き <u>かった</u> φ。
否	大き <u>くない</u> です。	⇔	大き <u>くない</u> φ。
	大き <u>くな</u> か <u>った</u> です。	⇔	大き <u>くな</u> か <u>った</u> φ。

ナ形容詞句與名詞句都需加上表示禮貌的「～です」才能作為句子的結尾，因此其普通形的句子需將「～です」換成「～だ」，「～でした」換成「～だった」才是完整的句子。至於表示非過去否定的「～じゃない」與表過去否定的「～じゃなかった」則可直接當句尾，所以不加表示禮貌的「～です」就是普通形的句子了。

◎ナ形容詞句

	禮貌形		普通形
肯	きれい <u>です</u> 。	⇔	きれい <u>だ</u> 。
	きれい <u>でした</u> 。	⇔	きれい <u>だった</u> 。
否	きれい <u>じゃない</u> です。 (じゃありません)	⇔	きれい <u>じゃない</u> φ。
	きれい <u>じゃな</u> か <u>った</u> です。 (じゃありませんでした)	⇔	きれい <u>じゃな</u> か <u>った</u> φ。

◎名詞句

	禮貌形		普通形

肯	学生 <u>です</u> 。	⇔	学生 <u>だ</u> 。
	学生 <u>でした</u> 。	⇔	学生 <u>だった</u> 。
<hr/>			
否	学生じゃない <u>です</u> 。 (じゃありません)	⇔	学生じゃない <u>φ</u> 。
	学生じゃなかった <u>です</u> 。 (じゃありませんでした)	⇔	学生じゃなかった <u>φ</u> 。

句型表現(二)

當我們要憑視覺對人事物進行評價等判斷時可以用「～そうです(看來很～、似乎很～)」來表示。

おいしい	形容詞詞幹 そうです。
おもしろい	
高い	
親切	
便利	

句型表現(三)

當我們要表達某人相信某事的時候可以用「～と信じます／信じています（相信～）」來表示,但當要表達人們普遍相信某事的時候就用「～と信じられています（一般,普遍相信～）」來表達。內容的部分填入普通形結尾的句子就可以了。

先祖の靈が帰ってくる

善には善の報いがある

この世界は神様によって作り出された

内容 と信じられています

《補充》

(1) イ形容詞的否定形及過去形

我們在第二課提過日語的形容詞依修飾名詞時的方法不同分成イ形容詞（形容詞後直接接名詞）及ナ形容詞（形容詞後需加「な」才能接名詞）。除此之外,否定形或過去形等活用上的變化方法也不同。イ形容詞的否定形為形容詞詞幹加上「くない」；過去形則為形容詞詞幹加上「かった」。

イ形容詞的否定形：

大きい

小さい

多い

少ない

形容詞詞幹 くない

大きくない

小さくない

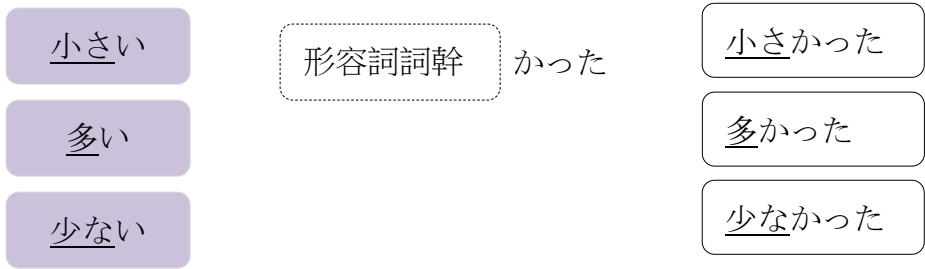
多くない

少なくない

イ形容詞的過去形：

大きい

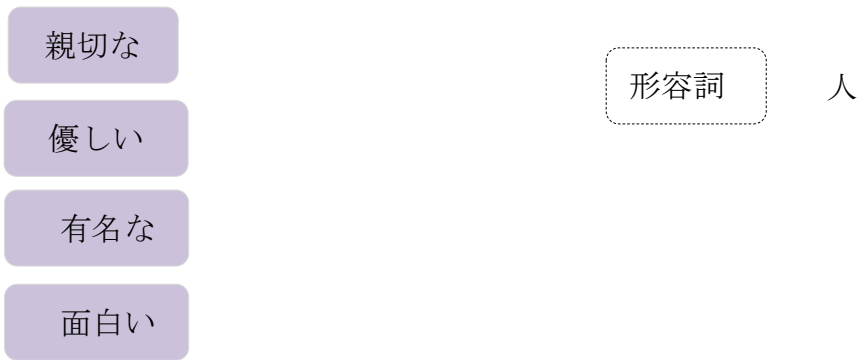
大きかった



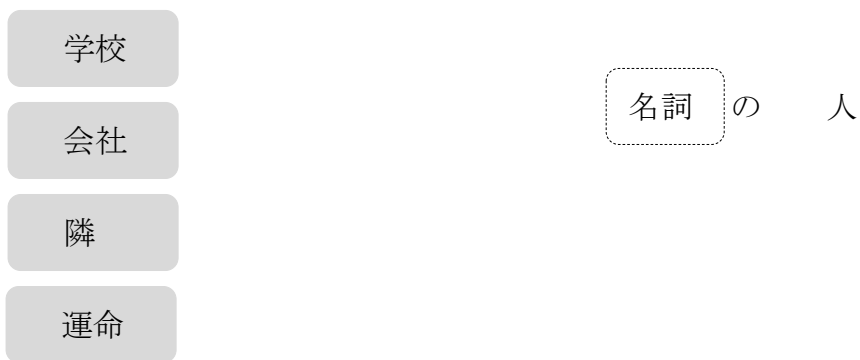
(2)名詞修飾

形容詞在句子裡的其中一個主要工作就是修飾名詞,對名詞加以說明或是限定。除了形容詞,名詞加「の」,動詞(動詞句)的普通形也可以修飾名詞。

「形容詞+名詞」



「名詞+の+名詞」



「動詞 (動詞句) 普通形+名詞」

亡くなった

優れた

帽子をかぶっている

眼鏡をかけている

毎日コーヒーを飲む

動詞普通形

人